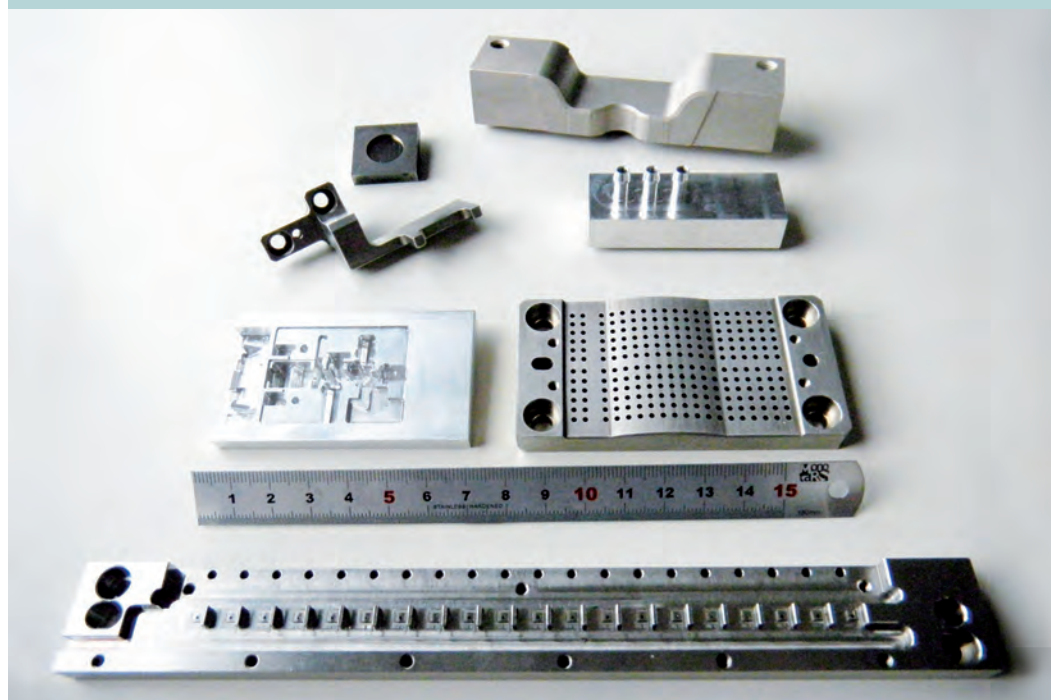


小型部品を高精度に加工 一貫生産で納期も厳守

納期
相談
メイド
イン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



高精度な金属加工部品が得意

業務内容
機械加工から部品測定
ほぼ100%内製化

「田中金属」はリチウムイオン電池やインクカートリッジの製造装置部品、工作機械の切削工具ホルダー、旋盤のチャックのツメなど、小型金属部品の精密加工を手がける。主な加工機械はマシニングセンター（MC）やフライス盤、放電加工機、ワイヤー放電加工機、研磨機など。平成15年には3次元測定装置も導入し、機械加工から加工後の精度測定までを、ほぼ100%内製化している。角形状の加工を中心に、単品や10個程度までの少量部品の試作をスピーディーに供給。量産部品に関しても100個程度まで引き受けており、年間で最大約50社の顧客に納めている。

強み
複雑形状の加工こなし
顧客の多様化で受注安定

多数の加工機でほぼ一貫加工できる体制を整えているため、工程が多く複雑な形状の部品もこなせる。焼入れが必要な部品では、信頼できる協力工場に依頼する。測定器具も充実しており、特に3次元測定装置は複雑な形状や幾何公差、社内ですぐ治具の計測に威力を発揮する。加工後の部品では測定まで実施することにより、品質や精度を保証している。

平成20年のリーマンショックまでは特定の顧客に対する依存率が高かったが、その後は主要顧客の開拓に努めて依存率を引き下げてきた。多様な業種との取引を行うことで、受注の安定度を高めている。

**設備
増強**
働き方改革への対応進め
高効率の工作機械を導入

「働き方改革」に応じて就業時間を減らす

ため、加工効率の高い工作機械を積極的に導入。平成15年以降は、2〜3年ごとに設備の新設や更新を進めてきた。機械導入には中小企業庁の「ものづくり補助金」などを活用しており、田中光啓社長は「次は、より高精度に加工できるMCを2台導入したい」と計画している。

平成28年には、ベトナム人社員の直接雇用を開始。外国人技能実習制度とは異なり、ビザの更新ができれば長期間の就業が可能となる。従業員を増やすことで、1人当たりの負担低減を図る考えだ。

**今後の
展望**
±0.005mm以下へ
精度の保証向上を目指す

さらに受注を増やすため、業務の効率化や加工機の増強、人材の増員と能力向上に取り組む。3次元測定装置を導入したことにより受注が増えて信用性も高まったため、引き続き測定器具の更新を進めている。現状の加工精度の実力は、寸法公差で±0.02mm以下。田中社長は「精度の保証を±0.005mm以下に上げる必要がある。そうすれば自信を持って製品を納入できるので、自然と受注が増える」と方針を示す。納期の競争力向上にも意欲的で、瞬間的な短納期だけではなく全体的な納期の20%短縮を目指している。



高度なマシニングセンターを導入



人材の採用と技能教育に注力する

当社の歴史



プレス加工とプレス金型の設計、製作、加工から出発し、将来を見据えて小型金属部品の精密加工に転じました。平成20年のリーマンショックを乗り越えた後、存在意義を示す企業理念を作成し、日々誠実に仕事に向き合い、研さんを重ねてきました。さらなる飛躍のために日々精進しています。

代表取締役 田中 光啓さん

<http://www.tanaka-metalwork.co.jp/>

主な事業内容

半導体関連装置・工作機械・搬送装置の部品、製造治具、弱電試作

主な取引先(納入先)

工作機械メーカー、包装機械メーカー、省力化機械メーカー

住所

〒573-0005
枚方市
池之宮4-12-1
TEL 072-805-0321
FAX 072-805-0322
創業 昭和26年6月
設立 昭和55年5月
資本金 1,000万円
従業員 8名